

2022年度

ニュージーランド 留学報告書

実習先： ワイカト 大学

実習期間： 9月 17日 ~ 1月 21日

新潟国際情報大学  
国際文化学科  
学籍番号： 21021081  
氏名： 長嶋絵利香

## 目次

1. 留学先及び留学期間	2
2. 留学先概要	2
3. 留学目的	2
4. 留学内容	3,4
4-1. 留学のスケジュール	4
4-2. 留学の詳細	5
5. 当初目的・目標への達成度	5
6. 反省点・課題	5
7. 謝辞	6

## 付録

留学日誌と文化について	6
-------------	---

## 1. 留学先及び実習期間

留学先：ニュージーランド国立ワイカト大学

実習期間：令和4年9月18日(日)～1月20日(金)

※帰国は1月21日(土)

## 2. 留学先概要

### (1) 大学について

ニュージーランド国立ワイカト大学は、北島の中心地・オークランドから約130km南、ハミルトン市にある国立総合大学である。65ヘクタールもの広大なキャンパス内には、3つの広大な池があり、その周りは木々や色とりどりの花に囲まれていて、自然と調和した素晴らしい環境にある。ワイカト大学はおよそ2000人の留学生を受け入れており、その出身地は88か国にも及ぶ国際的な環境が特徴であり、また様々な研究分野で高い評価を受けている。

### (2) 大学で行われている教育について

ニュージーランド国立ワイカト大学は留学生向けにいくつかのプログラムが提供されており、留学期間や費用、目的に合わせてプログラムを選ぶことができる。今回の派遣学生は一般英語コースとアカデミック英語コースに参加した。一般英語コースでは、まず初めにプレイスメント・テストを受け、その結果に応じて自分のレベルにあったクラスで日常生活で使う英語を学ぶ。アカデミック英語コースでは英語力の強化に加えて、英語圏の大学で必要とされるスキルの取得を目指す。クラスは8段階のレベルに分かれており、個々の学力に合わせて学ぶことができる。

## 3. 留学目的

今回の留学における目的は、主に2つあった。1つ目は英語力の向上、特にスピーキング能力の向上である。日本にいと英語を用いて会話をする機会が少ないため、リーディングやライティングの勉強が中心となってしまう。しかし、英語しか通じない環境で生活することで、スピーキング力とリスニング力を効率的に向上することができると思った。2つ目は、異文化への理解を深めることである。実際にその地に赴くことで感じることができる雰囲気や現地の人の意識を知ることができると思ったからだ。日本で文面を通して学ぶだけでは理解できないこともあり、様々な国の人と交流することで異文化を理解し、尊重することにつながると考えた。

## 4. 留学内容

以下から留学内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

#### 4-1. 留学スケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日	内容
9	18	到着、ホームステイ開始
	20	一般英語コース開始
10	1	ホビトンツアー
	31	アカデミック英語コース開始
11		
12	17	Christmas & New year holiday
1	4	授業開始
	21	帰国

#### 時間割

午前の授業は前半後半に分かれており、10時半頃に休憩がある。

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1限	9:00 ～ 10:30	General/ Academic	General/ Academic	General/ Academic	General/ Academic	General/ Academic
2限	10:45 ～ 12:00	General/ Academic	General/ Academic	General/ Academic	General/ Academic	General/ Academic
昼 休 み	12:00 ～ 13:00					
3限	13:00 ～ 15:00	General/ Academic	General/ Academic	General/ Academic	General/ Academic	General/ Academic
放 課 後					English Club	

#### 4-2. 留学の詳細

##### <授業概要>

###### ・ General

日常会話で使える英語や英語の4技能の基本を学んだ。スピーキングに慣れるため、ゲームなどを通して楽しみながら英語を話すことができた。

###### ・ Academic

英語圏の大学で必要とされるスキルを学んだ。Generalよりも難しくなったが、英語の力が向上したことを実感できた。

###### ・ English Club

ボランティアで参加してくれた現地の学生と交流を行った。この機会を通してネイティブの方々と友達になることができた。

#### 5. 当初目的・目標への達成度

この留学においての目標は英語力の向上・異文化理解を深めることであった。特にスピーキング力とリスニング力は以前に比べて向上していると実感した。会話を通して新たに単語を学んだことで、リーディングやライティングの力も向上していると感じる。英語に触れる時間が長ければ長いほど、英語力は成長するのだと改めて思った。また、ニュージーランドへ実際に行ったことで現地の文化だけでなく、他国から来ている留学生からさらに違う国の文化を知ることが出来た。日本にいただけでは分からないことを学ぶことができ、留学に行ってもよかったと感じている。

#### 6. 反省点・課題

個人として、もっと積極的に行動すべきだったということが反省点として上げられる。より積極的に授業で発言したり、放課後や休日にも現地の人ともっと関わっていれば、今以上にスピーキング能力は向上し、他のスキルも成長したのではないかと後悔している。この反省を生かし、さらに英語力の向上を目指して英語に触れる機会を大切に、積極的に取り組んでいきたい。

## 7. 謝辞

今回お世話になったニュージーランド国立ワイカト大学の先生方、ホストファミリーの皆さん、留学先で出会った全ての方に深く感謝致します。そして、学生が派遣留学に行けるよう計画して下さった新潟国際情報大学の先生方、関係者の方々、このような貴重な体験をする機会を下さり誠にありがとうございました。。また新潟国際情報大学からの奨学金により留学においてより良い経験をすることが出来ました。今回の留学に携わって下さった皆様のおかげで、忘れられない体験ができました。ここにお礼申し上げます。

### 付録：留学日誌

#### <Christmas & New Year holiday >

2週間ほどの休みがあったので、南島のクイーンズタウンとタウポ湖へ旅行に行った。日本では見られない街並みや幻想的な景色に感動した。ツアーに参加し観光地を巡ったり、有名なお店で食事をしたりとクイーンズタウンとタウポ湖を満喫した。この旅行は一生忘れられない思い出となった。他にもオークランドで年越しをしたり、ショッピングを楽しんだ。

#### ニュージーランドで感じたこと

- ・出会った人全員が親切だった
- ・フレンドリーな人が多く、道を歩いていると話しかけてくれた人もいた
- ・パーティーなど人が集まるイベントが多い
- ・日本に興味を持っている人が多い
- ・犯罪が少ない
- ・笑顔の人が多く、雰囲気が穏やかだった

